

授業概要

臨床心理学概論は、公認心理師の指定科目である。臨床心理学は、実践の知である。
本講義では臨床心理学の基礎と理論を講義する。
臨床心理学の歴史について概観して、臨床心理学の代表的な理論について講義する。
臨床心理アセスメントについて概説する。
教育・医療などの分野での心理支援の対象や方法について理解する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価、臨床心理学とは何か）
第 2 回	臨床心理学の誕生 臨床心理学の歴史
第 3 回	臨床心理学の歴史 日本の臨床心理学の誕生
第 4 回	臨床心理学の理論（１）精神分析・力動論 フロイトの理論
第 5 回	臨床心理学の理論（２）フロイトの理論（２）行動理論 ワトソン
第 6 回	臨床心理学の理論（３）分析心理学 ユング 対象関係論
第 7 回	臨床心理学の理論（４）行動理論 ワトソン
第 8 回	臨床心理学の理論（５）人間性心理学、来談者中心理論、ロジャーズ
第 9 回	臨床心理学の理論（６）認知行動療法 ベッグ
第 10 回	臨床心理学の理論（７）集団療法、心理劇、グループ・アプローチ
第 11 回	臨床心理学の理論（８）その他の理論、ゲシュタルト理論、交流分析
第 12 回	心理アセスメント 心理面接、心理検査、観察など
第 13 回	医療分野における心理支援（統合失調症、感情障害、不安障害）
第 14 回	教育・福祉分野における心理支援（不登校、発達障害、スクール・カウンセラー）
第 15 回	臨床心理学まとめ
第 16 回	試験

到達目標

- 1) 臨床心理学の歴史を踏まえて、臨床心理学とはどのような学問であるかを理解して全体像を説明できる。
- 2) 臨床心理学の主要な理論を理解して、それぞれの理論から心の問題を捉えて記述することができる。
- 3) 臨床心理アセスメントについて、方法と視点を概観して理解する。
- 4) 教育・福祉・医療の分野におけるそれぞれの心理支援の対象と方法について理解する。

履修上の注意

公認心理師の指定科目であることを、認識して受講すること。
将来、臨床心理士や公認心理師を目指す者は、大事な入門的な科目であるので、しっかり予習・復習を行い、知識を習得しておくこと

予習・復習

毎回、次回の授業内容を教科書で指示するので、指示された箇所は事前に読んでおくこと。授業をやった箇所と配布された資料を含め、ノートに記載して要点をまとめておくこと。

評価方法

成績評価は、学期末試験70%、レポート20%、受講態度10%の総合的評価を行う。

テキスト

- ・教科書名：『わかりやすい臨床心理学入門』
 - ・著者名：小山 望
 - ・出版社名：福村出版
- テキストを使用する、他に必要に応じて資料を配布する。